

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

山田 敬太
売上高は過去最高の27億円、工場拡張へ

熊本ニコンクリート工業社長

11 2019
月号
VOL.461

必読
生活習慣病／がん医療／医療関連
熊本医療最前線
2019-20

県内観光地、宿泊はインバウンド優勢
防災機能強化目指し4市が新庁舎建設
開設広がる「コワーキングスペース」／新規結婚式場相次ぐブライダル業界

特集

「熊本をアーティストが集える場所に」

10月2日から6日まで「第3回熊本国際漫画祭」

▶左から堀江信彦・(株)コアミックス社長、映画総監督で漫画家の北条司さん、俳優の緒方直人さん、菊池桃子さん、落合賢監督



熊本国際漫画祭実行委員会



▲今年で3回目の開催となった熊本国際漫画祭(鶴屋百貨店東館7階の鶴屋ホール)

▶10月2日の熊本国際漫画祭オープニングのテップカット。左から久我彰登・(株)鶴屋百貨店社長、河津延雄・(株)テレビ熊本社長、堀江・(株)コアミックス社長、小川剛・崇城大学芸術学部デザイン学科准教授



▲今年で3回目の開催となった熊本国際漫画祭(鶴屋百貨店東館7階の鶴屋ホール)
10月2日のオープニングセ

「第3回熊本国際漫画祭」を鶴屋百貨店東館7階の鶴屋ホールで開いた。



▲漫画祭の会場内には映画「エンジェルサイン」の原作となった「サイレントマンガ」5作品も展示

会場には世界中から応募のあった「セリフのないサイレントマンガ」の優秀作品74作品と、映画「エンジェルサイン」の原作となった5作品などを展示した。また期間中は出演者や監督らが出席した「エンジェルサイン」の試写会・スペシャルトークショー、漫画「よろしくメカドック」作者の次原隆二さんのトークイベントなどを実施した。

レモニーで(株)コアミックスの堀江信彦社長は「今回で3回目となった。1回ずつ成果を積み上げて新たな成果を見せることを心掛けてきた。今回の目玉は世界から寄せられた漫画をつないで作った映画だ。漫画の力と映像の力が手を握ると素敵なものが見ていただきたい」とあいさつした。

10月5日の「エンジェルサイン」試写会・トークショーには、総監督を務めた漫画「キャッツ・アイ」などの作家・北条司氏さん、南阿蘇鉄道を舞台とした短編「別れと始まり」の落合賢監督、出演した緒方直人さんや菊池桃子さん、堀江社長らが出席し、作品への思いを語った。緒方さんは「心を動かす演技の原点に戻れた」、菊池さんは「セリフがない分、心を伝える大切さが身に染みた」と振り返った。堀江社長は「マンガと映画は兄弟。補完し合えばエンタメの世界は広がる」とした上で、「熊本をアーティストが集える場所にするため、毎年、新たなプロジェクトを企画していきたい」と次の抱負を語った。

(企画開発部 石井・安田)

機能性表示食品の発表会開催

崇城大学

崇城大学(西区池田4丁目、中山峰男学長)は10月17日、産学官連携により開発した機能性表示食品の発表会を開いた。

トホールで発表会を開催。販売元の四方田徹(株)アマーサ社長、崇城大学応用微生物工学科の西園祥子准教授、佐藤崇雄県産業技術センター研究主任ら関係者が出席した。

(株)アマーサ(上天草市大矢野町、四方田徹社長)・崇城大学・県産業技術センターの3者連携により開発したもので、商品名は「モリリングGABA」。モリリングを原料とした機能性表示食品の開発は全国初。当日は同大学内のSILLC1階イベント

四方田徹社長は「パウダー状の商品で、様々な食品に加えて調理できるなど、応用範囲の広い商品。豊富な栄養成分が注目を集めており、今後一層の需要拡大が期待できる」と話している。



▲モリリングの葉を手に笑顔見せる西園祥子准教授(中央)。写真左端が佐藤崇雄県産業技術センター研究主任。右端が四方田徹(株)アマーサ社長



▶ネット通販で既に販売を開始した「モリリングGABA」左が30包入り、右が10包入り

「地域コミュニティブランド」の活用事例を紹介

熊本市産業振興課

熊本市産業振興課は
9月26日、同市中央区
手取本町の熊本信用金
庫ビジネスサポートプ
ラザで産学連携に向け
たマッチングイベント
「第70回ラウンドテー
ブル」を開いた。

地元企業と大学との
のマッチングを支援す
るもので、今回は崇城
大学情報学部情報学科
の内藤豊助教を講師に
招き「地域コミュニテ
ィブランド」をテーマ
に開催。当日は約30人
が参加。はじめに参加

者全員が一人ずつ自己
紹介を行った後、会を
スタート。内藤助教が
「地域活性化のための
地域コミュニティブラ
ンド」持続的でイノベ
ーティブなつながり方
を学ぶ」と題して、地域
コミュニティブランド
（SCB理論）の活用事
例を紹介。崇城大学の
星合隆成教授も飛び入
りし、SCB理論に基
づいたイノベーション
の「創発」について事例
を紹介。終了後は交流
会を開いた。

会を開いた。



▲約30人が出席した産学マッチングイベント「第70回ラウンドテーブル」



▲SCB理論について
紹介した星合隆成崇
城大学教授



▲講演した内藤豊崇
城大学情報学部情報
学科助教